

カッパの郷 志木

志木に伝わるカッパ伝説



▲宝幢寺にある
鮎を持ったカッパ像

「昔、人や馬に悪さをする河童が柳瀬川に住んでいました。ある日、その河童が、馬を川の中に引きずりこもうとして失敗し、村人たちに捕まってしまう。そこに宝幢寺の和尚さんが現れ、哀れに思った和尚さんが村人たちを説得し、河童を助けてあげました。すると、翌朝、和尚さんの枕元に、河童からのお礼のか鮎が置いてあり、それ以来二度と人や馬が襲われることはなくなりました。」

このお話は、江戸期の「寓意草」に収録された後、民俗学の第一人者である柳田国男の「山島民謡集」でも紹介され、全国的にも知られるようになりました。3本の川に囲まれ、水との関わりが深い街である志木市には、昔からカッパにまつわる伝説が伝えられています。

カッパをモチーフに

市内にはカッパをモチーフに作られた23体のカッパ像があり、それぞれに愛称がつけられ、市内外の人々に親しまれ、訪れる人に安らぎを与えています。他にも志木市文化スポーツ振興公社のキャラクター「カバル」や志木市商工会のキャラクター「カッピー」など、カッパの郷として愛嬌いっぱいのカッパが活躍しています。



▲【左から】志木あらちゃん、カッピー、カバル

さらに、平成23年に突如、市内の荒川に現れ、お茶の間を賑わせたアザラシをモチーフとした「志木あらちゃん」も志木市を代表するご当地キャラクターとして活躍しています。



▲市内にあるカッパ像たち

語り継がれる伝説からロボットまで



▲4式ロボというは水輝

平成26年6月に志木市では、水と緑、そして新河岸川・柳瀬川沿いの桜に囲まれた志木市の魅力を市内外にPRするために、カッパと市章をモチーフにした志木市観光PRキャラクター「4式ロボ」と「いろは水輝」を誕生させました。このキャラクターは、以前に志木市にアトリエを持ち、創作活動を行っていた漫画家で映画監督の松浦まさみさんがデザインしたもので、「志木は、水と緑と桜の美しい街だと思います」との松浦さんの言葉のとおり、志木の魅力を融合させたキャラクターであり、4式ロボというは水輝の今後の活躍を期待しています。

このように、語り継がれる伝説からロボットに至るまで、志木市にはたくさんの物語があり地域に根付いています。

きれいな水とみどり豊かな健康平和都市宣言

平成2年10月26日制定

今、地球環境の保護と世界の恒久平和が叫ばれている中で、わたしたち志木市民共通の願いは、まず、身近な自然を愛し、健康を育み、平和な社会をつくることです。

そのため、わたしたちは、水に親しみ、みどりを育てます。

健康な心とからだを育てます。

平和で自由な世界が確立されることを強く訴えます。

そして、これらのことを市民一人ひとりが努力し、次代に引き継ぐことを誓います。

わたしたち志木市民は、市制施行20周年にあたり、ここに、きれいな水とみどり豊かな健康平和都市の宣言をします。

志木市将来ビジョン

第五次志木市総合振興計画 ダイジェスト版



市民力でつくる未来へ続くふるさと志木市
ずっと住み続けたい、住んでみたいまちをめざして

志木市勢要覧



志木市長
香川 武文

志木市は、都心から25km圏内の距離にあり、市の中心に新河岸川と柳瀬川、東には荒川という3本の川が流れる、交通の利便性に恵まれた、水と緑、人と自然が調和した人口約74,000人の住宅都市として発展してまいりました。

一方、日本の総人口は平成20年から減少に転じており、平成72年には1億人を下回る約8,600万人になると推計されております。国では、このような状況を踏まえ、人口減少や急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的とした取組をはじめたところです。

本市においても少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少していく中であって、今後も持続可能で未来に夢と希望が持てるまちづくりを推進していくためには、本市の目指すべき方向を計画に位置付けていく必要があると考え、志木市将来ビジョン(第五次志木市総合振興計画)を策定いたしました。

この計画では、10年後の本市を展望した、まちの将来像「市民力でつくる 未来へ続くふるさと 志木市」の実現に向けて、「市民力が結集した夢のあるまちの創造」と「地域資源を活用した魅力の創造」をまちづくりの基本的な考え方として掲げ、5つの基本目標と併せて、各分野が横断的に連携して取り組む4つの戦略プロジェクトに基づき、各種施策を計画的に展開することとしております。

市民の皆様がそれぞれの知識や経験を生かしながら行政と一体となって、現在お住まいの皆様が「ずっと住み続けたい」と思えるようなまち、また、子育て世帯や若者にとって「住んでみたい」と思うまちづくりを推進してまいりたいと考えておりますので、より一層のご理解とご協力、さらには、まちづくりへの積極的な参画をお願い申し上げます。

この計画の策定にあたり「市民意識調査」にご回答をいただいた市民の皆様、ご意見をいただきました地区まちづくり会議委員の皆様、慎重なる審議をいただいた志木市総合振興計画審議会委員の皆様、そして市議会議員の皆様にご改めて感謝申し上げます。

平成28年3月

志木市民憲章

わたくしたちは、武蔵野の自然に恵まれ、長い歴史と伝統にはぐくまれた志木市民であることに誇りと責任を持ち、やすらぎと希望に満ちた住みよい志木市をめざしてこの憲章を定めます。

- 1 自然を愛し、美しいまちをつくりましょう。
- 1 教養を高め、豊かなまちをつくりましょう。
- 1 きまりを守り、明るいまちをつくりましょう。
- 1 スポーツに親しみ、健康なまちをつくりましょう。
- 1 互いに助け合い、しあわせなまちをつくりましょう。

市章



志木市がますます四方に発展すると同時に丸をあしらって調和のとれた発展を図案化した。

(昭和45年10月26日制定)

市の木 モクセイ



広く庭木として植えられる常緑樹で、高さ3m~4m。10月頃黄・白色などの花が咲く。香気の花といわれ、よい香りがする。

(昭和55年10月26日制定)

市の花 ツツジ



庭に植える常緑低木。5月頃赤・紫・白色などの美しい花が咲く。園芸品種が非常に多い。

(昭和55年10月26日制定)

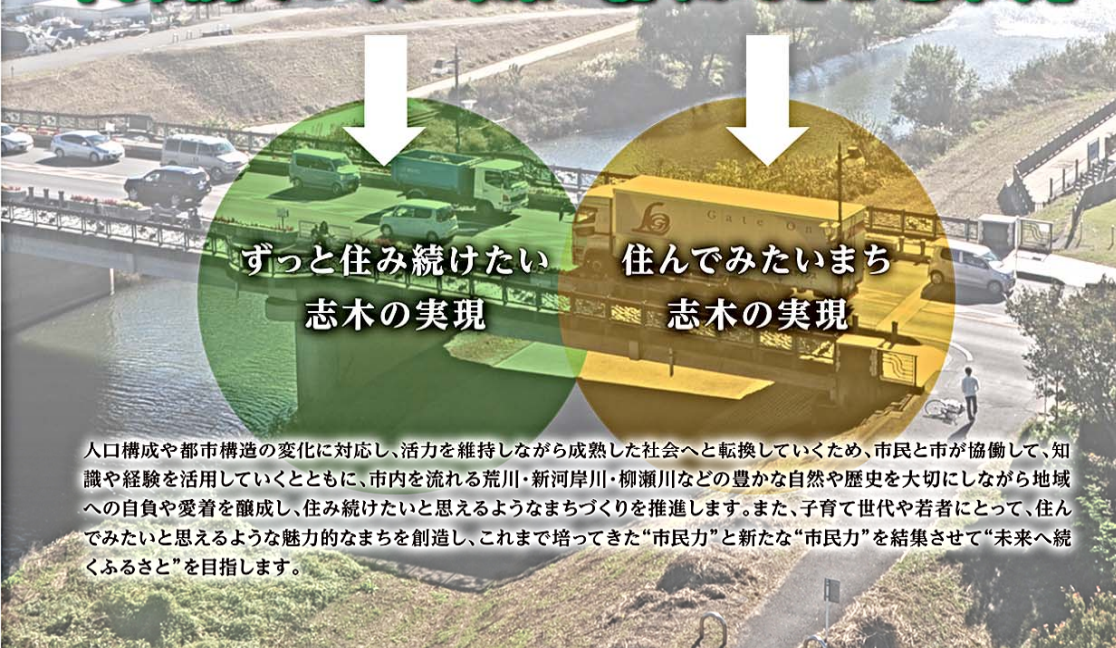
志木市が目指すまちづくり 第五次志木市総合振興計画

まちづくりの基本的な考え方に基づき、市民力の結集、ふるさと資源の活用により、「ずっと住み続けたい」「住んでみたい」と思える志木を実現します。

まちづくりの基本的な考え方



「市民力でつくる 未来へ続くふるさと 志木市」



将来像の実現に向けて

志木市戦略プロジェクト

市民力が結集した夢のあるまちの創造

1

市民の健康づくりプロジェクト

【プロジェクトの考え方】

市民が積極的にまちづくりに参画できる環境づくりを進めるとともに、スポーツなどを通じた健康づくりを推進し、市民が主体的に健康づくり活動に取り組むまちを目指します。

人口構成の変化に伴い少子高齢社会を迎える中で、誰もが安心して生きがいを感じながら住み続けることができるように、市民力を発揮できる仕組みの構築を目指します。



いろはウォークフェスタ



健康になりまっする教室



市民体育祭

成果指標：健康寿命の延伸

2

子育て世代定住プロジェクト

【プロジェクトの考え方】

これまで住宅都市として発展し、人口が増加してきた本市においても、高齢化が進み、生産年齢人口が減少傾向にあることから、将来的な人口減少に備え、子育て世代が定住し、住み続けることができるまちを目指します。

就労の機会づくりや安心して子育てできる環境づくりなどに取り組み、市民がずっと住み続けたいと思えるよう、地域資源の魅力を高めるとともに市に対する愛着心を育てていきます。



放課後学習教室



子育て支援センター



保育園

成果指標：生産年齢人口の増加

3

暮らしやすさ向上プロジェクト

【プロジェクトの考え方】

コンパクトな市域を生かし、市民が各施設を利用しやすく移動しやすいまち、効率的な行政サービスにより市民にとって暮らしやすいまちを目指します。公共施設においては、利用頻度や老朽化などを踏まえて、効率的な施設マネジメントと施設利用の活性化を図り、交通環境においては、デマンド交通などによる利便性の向上を図ります。

また、市民が安心して暮らすことができるように、タイムライン（防災行動計画）の確立、避難所・避難路の確保、危険箇所の重点整備などにより、災害時に市民の命を守るまちを目指します。

成果指標：定住意向の向上



デマンド交通



町内会による防犯パトロール



生活道路の整備

4

魅力発信プロジェクト

【プロジェクトの考え方】

本市の魅力を発信し、志木市を訪れたい、住んでみたいと思うまちを目指します。そのためには、少人数指導体制事業など特色ある施策の情報や魅力を広く発信することはもとより、魅力ある地域資源を発掘し活用するとともに、地域資源に新たな付加価値を与える地域ブランドの創造に取り組みます。

また、行政だけではなく、官民連携や広域連携により地域の魅力を発信するとともに、民間組織や学校などとの連携を図り、スポーツ活動や公開講座など市民にも有益で市外から来訪するきっかけにもなるような情報提供を積極的に行います。

成果指標：来訪者（定期外乗降客数）の増加



4式ロボ・いろは水晴



いろは観水公園の桜



村山校庭まつり

将来像を実現するため、5つの基本目標を設定しまちづくりを推進するとともに、基本的な考え方である「市民力が結集した夢のあるまちの創造」と「地域資源を活用した魅力の創造」を施策の柱として、各分野が連携して取り組む戦略プロジェクトを設定します。

地域資源を
活用した
魅力の創造

都市活力が維持できるように子育て家庭などに対して効果的な支援をするとともに、高齢者が自分らしく生きがいを持って生活できるような施策を展開することで、すべての市民が都市活力の一翼として活躍できるまちづくりを推進します。

すべての市民が健康で快適に暮らすことができるように健康・福祉サービスの充実を図るとともに、市民生活を豊かにする生涯学習・文化振興・スポーツ活動が活発に展開されるまちを目指します。

都市の活力となる商工業の振興及び都市農業の経営基盤強化の促進を図るとともに、観光・イベントなどの充実により来訪者の拡大を図ります。また、水と緑にあふれる自然の恩恵を持続的に得られるよう河川の保全や環境負荷の低減を図り、地球環境にやさしく水と緑が豊かなまちを目指します。

市民生活を支える都市基盤の適正な維持管理と計画的な更新を行い、公共公益施設のマネジメントを進めます。また、交通の利便性が高く誰もが暮らしやすいまちづくりを推進するとともに、市民が安心して暮らせるよう自然災害に対する不安の軽減、犯罪や火災の防止に取り組みます。

すべての市民が適正な行政サービスを受けられるように、財政の健全化や行政サービスの効率化に取り組みます。また、市民生活に有益な情報を多様な媒体によって積極的に発信します。

現在は、首都近郊25キロメートル圏で、都心まで20分という好立地から、人口増加を続け、住宅都市として発展しています。

志木市の年表